

MET

新会長に武井氏 (ピーエーシー)

低炭素社会へ理想モデル考案を



武井 一義会長

【東京】一般社団法人東京都設備設計事務所協会(MET)は5月30日、第8回定時総会をインターネット上(東京都新宿区)で開催した。2018年度(平成30年度)事業報告等を承認したほか、2019年度事業計画を報告。また任期満了に伴う役員選任を行い、会長には新たに武井一義氏(ピーエーシー代表取締役)

が就任した。平成30年度事業報告では、六つの事業種目ごとに報告があった。六つは①設備の知識に関する普及及び啓発②設備に関する情報の提供③設備設計を行う業務環境の改善④設備設計に携わる技術者の育成と資質の向上⑤設備設計に関する技術などの調査研究⑥その他行事/事業。このうち①では、昨年12月に新Pにおける「BCP」における「スマートな設備設計の実現」をテーマに、東京で開催して47名の



総会の様子

参加を集めた。また④では、講習会や見学会等を開催し、中でも昨年6月

各地で総会開催

に木村工機の東京ショールームで開催した「空気線図読み方講座とショールーム見学会」には57名の参加があった。2019年度事業計画でも六つの事業種目ごとに報告が行われた。⑤では低炭素社会に向けた技術調査と理想モデルの考案に取り組み。低炭素化となる技術の実態、動向等を調査し、理想モデルを考案し、会員の業務における参考資料となることを目指すとしている。なお新役員のうち、副会長には千田信義氏(総合設備計画業務取締役東京事務所長)と南雲繁人氏(ナクモ設備設計事務所代表取締役)が、専務理事には藤原孝行氏(エコテックインテグレーション研究所代表取締役)が就任した。

定時総会経て出口理事長再任

石冷工 関係法規周知や技術者育成が柱

【石川】一般社団法人石川県冷凍空調設備工業会(理事長 出口正秋氏、事務局・金沢市専光寺町二31北陸エアコン内、略称・石冷工)は5月21日、石川県地産産業振興センター(金沢市)で「第17回定時総会」を開催し、任期満了に伴う役員改選後の理事会で、出口理事長(サリック)